



東和病院だより

冬号



佐久山雅文 副院長（院内感染防止対策委員長）

あけましておめでとうございます。

おかげ様で東和病院は、本年病院移転後 28 年目を迎えることができました。社会情勢の変化、医療を取り巻く環境の変化に翻弄されながらも、松浦院長の舵取りで地域医療を守って参りました。

コロナ感染症が発生して早 4 年。スタッフは皆、細心の注意を払いながら日々の仕事にあたってきております。これからも困難は続くことですが、職員一丸となって皆様の健康に貢献したいと思います。

今年は卯年。皆様のご健康と飛躍をお祈りしますと共に、皆様に東和病院の応援団になって頂けるよう日々努力していく所存です。

本年も宜しく願いいたします。

東和病院を受診される方へ



東和病院を受診される方で、呼吸器症状（咳、鼻水、鼻づまり、咽頭痛など）や発熱がある場合は、**病院の中に入る前**にお電話でお問い合わせをして頂きますようお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症の疑いも考え、できる限り他の患者さんとの接触を避けたうえで受入を行いたいと考えておりますので、ご理解ご協力をお願いします。

問い合わせ先 東和病院 **0198-42-2211**

今年もここ数年と同様な寒波がやってきました。

新型コロナウイルス感染症のために、なりを潜めていたインフルエンザが、県内でも12月には広い範囲で確認されています。

新型コロナウイルス感染症の流行当初はインフルエンザとのダブル感染はないとの噂もありましたが、ニュース等でも同時感染した人の話題が聞かれています。

どちらも呼吸器の感染症で、症状だけでは見分けるのが困難です。一番大事なのは、まず感染しない、感染させないことです。新型コロナウイルス感染症蔓延以前、インフルエンザで亡くなる方は高齢者が多く、病院ではインフルエンザ流行期には面会禁止になっていました。(新型コロナウイルス感染症発生後は、常に面会禁止ですよね。)

すでに皆さんご存じのように、どちらのウイルスもアルコールでの消毒が有効です。乾燥して手荒れがひどくなる時期ですが、きちんと保湿をし、アルコールでの消毒を適量で行いましょう。手荒れがひどいとウイルスが荒れた皮膚に付きやすくなるので注意しましょう。



さて、同時感染した場合、フルノ感染症などと呼ばれることがありますが、最近できた造語ですので、そういう病名はありません。

厚労省からのデータではその場合、新型コロナウイルス感染症単独よりも、人工呼吸器を使用しなければならないケースは4.14倍、死亡数は2.35倍と有意に増えるとされています。ちなみに肺炎の発症率はインフルエンザ 1.2%、新型コロナウイルス感染症 5.6%、致死率はオミクロン株 0.13%、インフルエンザ 0.001%未満との報告があるようです。数字はデータとしての価値はありますが、どんなに少なくとも自分自身が当たらないことの保証にはなりませんので、はじめに申し上げましたように、うつらないことが大切です。

では、検査のお話で。当院ではどちらのウイルスも抗原定性検査、新型コロナウイルスは、加えてPCR検査を行っています。

新型コロナウイルスの抗原検査は市販されており、ご自分で検査された経験ある方もおられるでしょう。どちらの検査もウイルスそのものを捉えるものではありません。また、ご自分で行った検査で陽性の場合には感染していると考えられるので、病院でのPCR検査を望んでも病院の業務が逼迫している時には受け入れてもらえない場合が多いので、自己隔離した上で、新型コロナウイルス感染症相談センターに電話をしてその後の対応の指示を受けましょう。抗原検査はウイルスの量が増え抗原タンパクが多くなると陽性に出ません。体調がおかしいなと思ってすぐの検査では陰性の場合が多いようですので、症状が強くなってからの検査をおすすめします。これは、インフルエンザの検査も同様なので、夜中におかしいなと思っても、朝まで待って自己検査するか、かかりつけの医師に相談しましょう。



PCR検査も万能ではありません。PCR検査は、ウイルスの遺伝子の一部があれば、それを増幅して確認する検査です。数週間前に罹患していても陽性に出ることがあります。

過去数ヶ月以内に罹患した経験のある方は受診時に必ず医師に伝えてください。病院では、患者さんの情報や検査値などから判断します。どちらの検査も陰性だから感染していないとはいえません。風邪症状がある場合は、他人にうつさない行動をしてゆっくりからだを休めましょう。

どんなに注意していても感染する危険性はあります。日頃の体調管理をしっかりおこなって、万が一感染しても重症にならないからだを維持できればいいですね。



救急症例検討会を開催しました

12月14日（水）に東和病院、花巻中央消防署 東和分署、遠野消防署 宮守出張所による救急症例検討会を開催しました。



救急症例検討会は、地域の救急医療のレベルの向上を目的に、医師と救急隊員が実際に搬送された症例をもとに、救急隊が行った活動を振り返りながら様々な課題を検討する勉強会です。

新型コロナウイルス流行後は、一昨年は開催見送り、昨年度は花巻中央消防署 東和分署と規模を縮小し開催しましたが、今回3年ぶりに両消防隊を当院に招いての開催となりました。

今回は、救急搬送の症例について花巻中央消防署 東和分署及び遠野消防署 宮守出張所からそれぞれ1症例の発表があり、救急隊員、救急搬送患者に処置を行った医師及び看護師等を交えて、症例ごとに検証と意見交換を行いました。

地域の皆さんに信頼と安心を与える医療を提供していくため、引き続き地域の消防機関との連携を図りながら、よりよい救急医療を提供できるよう取り組んでまいります。



新採用医師のご紹介



やなぎはら わたる
柳原 普 先生

- ① 出身地
花巻市
- ② 出身大学
岩手医科大学
- ③ 所属学会
日本脳神経学会、日本脳神経外科コンGRESS、
日本脳卒中学会、日本脳卒中の外科学会、日本血管治療学会
日本脳循環代謝学会、日本神経内視鏡学会
- ④ 趣味・特技
歌、弓道（四段）、ラーメン屋めぐり、スポーツ観戦
- ⑤ ひとこと
地域の皆さまに少しでも貢献できるように努力します。
よろしくお願ひ致します！

紹介患者さんのFAXによる受診予約を開始しました

あらかじめ FAX により受診予約をして頂くことで、当院にご紹介して頂く患者さんがスムーズに受診ができますので、ぜひご利用ください。

- FAX 受信後 30 分以内を目安に、当院から紹介元医療機関様あてに受診予約日を FAX によりご連絡いたします。
- 紹介患者用診療申込書は、当院ホームページよりダウンロードのうえご利用ください。
(<http://www.towa-hp.com/index.php> ▶医療機関の方へ ▶地域連携について)
- 受付時間 月曜日～金曜日（祝日・年末年始を除く）9 時 00 分から 16 時 30 分まで
- FAX 番号 0198-42-4417

外来診療のご案内

2023 年 1 月現在

	診療科	月	火	水	木	金	土・日・祝
午前	内科	土橋・松尾 星 佐野	松尾 堀井 佐野 佐久山	佐久山 松尾 佐野	佐久山 柳原 土橋	土橋 柳原 佐野 佐久山	当直医
	泌尿器科	星					
	外科	佐藤 柳原	佐藤 土橋	佐藤 土橋	佐藤 松尾	佐藤 松尾	
【専門外来】（予約制）							
午後	脳神経内科			中部病院 （第 2、4）			
	呼吸器内科			胆沢病院 （第 2、4）			
	循環器内科		中央病院 （第 3）				
	整形外科				北上整形外科 CL （第 2、4）		

編集後記

今年の冬は今のところ雪も少なく、暖かい日も多く過ごしやすい日が続いていますね。
新型コロナウイルス感染症は皆さんご承知のように収まる気配がないし、今年は、インフルエンザが増えています。また、RS ウイルスや、带状疱疹も増えているようです。
快眠快食、ストレスをためない生活を心がけ、冬を乗り切りましょう！

岩手県立東和病院

〒028-0115 花巻市東和町安俵 6 区 75-1 TEL:0198-42-2211 FAX:0198-42-4417
ホームページアドレス <http://www.towa-hp.com>